

◆経済倶楽部講演会第4273回（1月18日）

貨幣論から見たビットコインの将来と 資本主義の将来

国際基督教大学特別招聘教授
岩井 克人

- *ビットコインは分散化された暗号貨幣
- *ナカモト・サトシとF・A・ハイエクの夢
- *貨幣商品説も貨幣法制説も誤り
- *貨幣とは貨幣として使われるから貨幣
- *貨幣論的にビットコインに新しさはない
- *ビットコインが貨幣の可能性を捨てた理由
- *流通貨幣としての基本的な要件
- *ハイエクの夢は実現するか
- *貨幣が生むバブルとバニック
- *資本主義の安定性を担保する中央銀行



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は初めて岩井克人先生においでいただき
ました。ご存じの方も多いと思いますけれども、
東大をご卒業後、MITで学位をお取りになり、
イェール大学で教鞭をとられ、その後、東大で
教授をされました。

本日は「ビットコインの将来と資本主義の将来」
です。今世の中はAIやインターネットの
普及ということで激変しつつあるわけですが、
そこで起きていることをわれわれはどう捉えて、
どういうふうに身を処さなければいけないかが
非常に重要になっております。それから、この
会でもいろいろな方が資本主義のこれからにつ
いてお話をいただいておりますが、皆さんもわ
れわれが慣れ親しんできた経済社会がどう変わ

っていくのか非常に興味をお持ちだと思います。
今日はそこを岩井先生からじっくりお
話しいたきます。それでは先生、よろしくお
願いいたします。（拍手）

ビットコインは分散化された暗号貨幣

岩井 ご紹介いただいた岩井でございます。
どうぞよろしくお願います。

経済倶楽部の講演会を依頼されたとき、私が
今いちばん考えていることの一つであるビット
コインと貨幣論についてしゃべろうと思ったん
ですけれども、ただ、その後、ビットコインが
どんどん暴落し始め、話題性が少なくなつてき
ました。最初この話題を提供しようと思ったと
きは、医者としてビットコインがいかに病気で